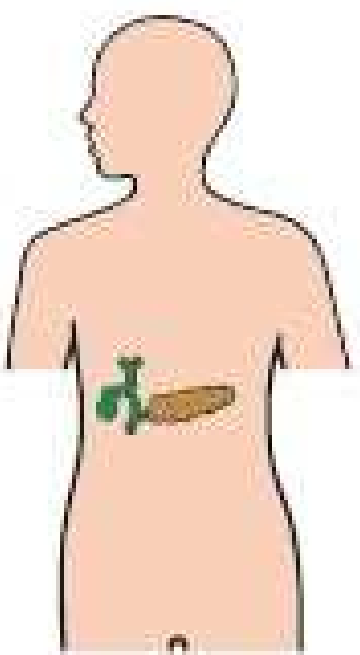




**Q**：膵(すい)がんについて教えてください。

**A**：膵がんは年々増加しており、部位別がん死亡原因としては、男性で第5位、女性では第4位となっています。きわめて予後の悪い病気で、5年生存率は10〜20%程度とされています。疫学調査では危険因子として、①家族歴のある人②胆石、糖尿病、膵石の既往③タバコ、アルコール、コーヒーの嗜好(しこう)があげられています。膵臓はちょうど胃の後ろ側にある臓器で、働きは主に2つあって、消化液である膵液をつくって十二指腸に分泌する外分泌機能と、血糖を調節するインスリンなど

のホルモンをつくる内分泌機能です。膵がんの90%以上は外分泌細胞から発生します。進行した膵がんの症状としては、腹痛や背部痛、黄疸(おうだん)、体重減少や糖尿病の発症などがありますが、早期の段階では特徴的な症状はなく、腫瘍マーカーも早期発見に有用とはいえません。膵が



んは診断の難しい病気ですので、長引く腹部や背部の痛みや違和感などの不定愁訴(しゆうそ)がある場合には、積極的にCTや超音波検査を考慮する必要があります。

(岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニジコー北口駅前ビル2F)

☎0555・2888・1801